

食といのちと社会奉仕

食とは、人を良くするといわれていますが、現代の多くの人々は「食」をないがしろにして生活しています。人の食する食べ物は、多くは生き物からいただいています。そして人の「いのち」はこの食に賄われ、人はその「いのち」を精一杯使って、地域、国で職業奉仕、社会奉仕を行っています。この講座では、若い人を対象に、異種の職業分野の奉仕グループである広島中央ロータリークラブの会員と当大学教員が、それぞれの専門分野から見た「食といのちと社会奉仕」について講義します。

- 日 時：平成 25 年 6 月 18 日，25 日，7 月 2 日，9 日（全 4 回）
火曜日 18:20～19:50
- 会 場：県立広島大学広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）
- 内 容：

6 月 18 日	食に重要な人体の成り立ち	人間文化学部健康科学科教授 嶋本文雄
6 月 25 日	口は災いのもと？	広島大学歯学部教授 高田 隆
7 月 2 日	食の安心安全について	広島大学薬学部教授 太田 茂
7 月 9 日	食育から健康美を極める ～いつ・何を食べるか～	人間文化学部健康科学科准教授 西田由香

- 定 員：20 名
- 対 象：高校生，大学生，大学院生
- 受 講 料：無料
- 申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号，②住所，③名前（ふりがな），④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号，住所，名前（〇〇様）をご記入の上、平成 25 年 6 月 3 日（月）までに次のところお送りください。
〒734-8558 広島市南区宇品東 1 丁目 1-71
県立広島大学地域連携センター「食といのち」係
受講案内は申込締切日以降にお届けします。
※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。
- 主催・問合せ：

県立広島大学地域連携センター

TEL 082-251-9534（平日 9:00～12:00／13:00～18:00）

《 講 座 内 容 》

6月18日

食に重要な人体の成り立ち

嶋本 文雄

正しい食生活をするには、食物がどのように消化、吸収されていくかを理解することが重要です。そのような生理的なはたらきは、多くの細胞、組織が協力して成し遂げられ、それは社会の機構が多くの人々の奉仕に依存して成り立っているのに似ています。人体では、その破綻が人の病気を生み出します。その人体の成り立ちについて、講義します。

6月25日

口は災いのもと？

高田 隆

近年、疫学的ならびに実験的方法論の進歩により、歯周病のような口の病気と誤嚥性肺炎、2型糖尿病、心血管系疾患、早産・低体重児出産など、さまざまな疾患との関係が明らかになってきました。講座ではなぜ口の病気と全身の健康の間に深い関係があるのかをわかりやすく解説することによって、オーラルケアの大切さについて理解していただきたいと思います。

7月2日

食の安心安全について

太田 茂

毎日食べている食事について考えてみましょう。食中毒にならないためにはどうすれば良いのでしょうか。食品の中に含まれている食品添加物は大丈夫なのでしょうか。ほんとうに安全で安心な食事を摂ることの大事さについて、いろいろな例を通してお話しします。

7月9日

食育から健康美を極める ～いつ・何を食べるか～

西田由香

「食」は健康づくりや豊かな人間性の基盤となり、「食育」は赤ちゃんから年配の方まで、すべての世代に大切です。健康的な食生活を考える上で「何を・どのくらい食べるか」だけでなく、最近では「いつ・どのタイミングで食べるか」という時間栄養学が注目されています。心身ともに美しく健やかであるために・・・心がけたい食生活のポイントを一緒に考えてみましょう。